

新「鹿行大橋」が開通



4月26日、行方市民待望としていました新鹿行大橋が、山田地内の国道354号線北浦バイパスとともに開通し、銚田市札地内で茨城県

主催による開通式典が開催されました。旧橋は、昨年の震災によって橋桁が落ち、1年以上と長期にわたり通行止めとなり、市民生活に大きな支障を来しました。そのため、当初完成予定の本年度末より約1年早く完成させ、ゴールデンウィーク前の開通式となりました。供用開始に先立ち開通式と渡り初めが行われ、関係者や地元住民らが新しい橋の完成を喜びました。

また、開通式の2日前には、東日本大震災の犠牲者の鎮魂と大震災からの復興を願い、約2300発の花火が夜空を彩りました。湖岸には、銚田・行方両市を合わせて約9000人が詰めかけ、花火が上がる度に歓声上がり、大いに盛り上がりました。市ではこの地域を河川に親しみやすいさまざまな工夫をもって地域振興に繋げるとともに、安全、安心に配慮しつつ快適な道路整備を通じ、まちづくりをなお一層推進していきます。



行方市のうた【歌詞】に

ご応募いただきありがとうございました！

行方市は、今年の9月2日で合併7周年を迎えます。これを記念して市民の皆様の郷土意識の高揚と地域情報発信を図ることを目的とし、行方市がイメージできる親しみやすい、また歌いやすい歌詞を募集しましたところ、たくさんの応募をいただきました。ありがとうございました。

応募作品の中から、「行方市のうた選考アドバイザー会議」において選考が行われ下記の方が入賞しました。おめでとうございます。現在、9月2日に開催予定の「行方市市制施行7周年式典」での発表に向けて準備をすすめています。

○優秀賞○

水木 亮	「元気な行方 拓こうよ」	神永 卓郎	「行方市市歌」
------	--------------	-------	---------

○入賞○

稲岡 俊一	「大きな未来」	今里 修	「風よ時よ」
星合 節子	「輝け・なめがた」	保岡 直樹	「行方市のうた ～虹のふるさと～」
工藤 和久	「夢タウンなめがた ～心に帆をあげて～」	野村 喜義	「行方市讃歌」
根本 基之	「行方市民の歌」	紙田 泰代	「ありがとう 行方」
茂木 暖人	「ぼくらのまち 行方」	篠本喜久枝	「行方市の歌」

行方の魅力を全国に発信しました

NHK・Eテレ「俳句王国がゆく」公開収録

4月28日、行方市文化会館において「俳句王国がゆく」の公開収録が行われ、5月6日にはNHK・Eテレで全国放映され、行方の魅力を全国に発信しました。

今回、市在住で菖蒲を栽培している白戸慶和さんや霞ヶ浦で漁を続けている理崎勝三さん、地元の料理グループに所属している茂木千恵子さん、市立大和第2小学校の児童などが番組に協力したほか、市内在住の高野三千春さんと高野よし子さんが一般俳人として出演しました。

俳句の主宰を務めた銀化同人の權未知子さんが、わかりやすく俳句を説明したほか、ゲストの内田朝陽さんや司会の博多華丸大吉のお二人が番組を盛り上げ、終始、笑いあり、歓声ありの楽しい番組収録となりました。



高速道路の用地幅杭が設置されます

東関東道水戸線（潮来～鉾田間）の用地幅杭設置式典

国土交通省常総国道事務所は、東関東自動車道水戸線の潮来～鉾田間約31km（行方市内約13.8km）の区間について、道路に必要な土地の幅を示す用地幅杭の設置に着手しました。それに先立ち、4月23日、石神地内において、今後の事業の安全と円滑な推進を祈念し、国土交通省常総国道事務所長、茨城県高速道路対策室長、伊藤市長により、最初の杭が打設されました。

今後は用地幅杭設置が進められるとともに、用地測量・調査などが行われていきますので、ご協力をよろしくお願ひします。

ゴールデンウィーク なめがたの風景



行方市防災会議が開催されました

安心・安全なまちづくりを進めます

行方市では、茨城県地域防災計画の改定が今年3月に実施されたことを受け、4月25日に行方市防災会議を開催し、現在の行方市地域防災計画に対する検討・改定を推進することとしております。

会議の冒頭に、伊藤孝一会長より「安心・安全なまちづくりを強力に進めてまいりたい」旨の挨拶がなされ、委員16名のご就任をいただきました。

今後、より実効性のある行方市地域防災計画を策定するため委員の皆様と検討を重ねてまいります。



くらし安全安心事業 協定締結

いばらきコープ生活協同組合・生活協同組合パルシステム茨城
4月26日、市はいばらきコープ（小美玉市）、パルシステム茨城（水戸市）と、「要援護者の見守り活動協定」を締結しました。この協定は、両生協の宅配業務中に配達担当者が要援護者の自宅で、異常を発見した場合、迅速に担当部署に通報を行うものです。協定には、道路の陥没や倒木などを発見した場合に市の担当部署に通報することも盛り込まれています。公道についての協定を生協が行政と締結するのは全国でも初めてです。協定内容が活用され、地域の安全・安心に生かされることが期待されます。

いちご狩りを楽しみました

北浦幼稚園園児 齋藤正樹さん宅にて

北浦幼稚園の年長組37名が小貫地区のいちご農家、齋藤正樹さん（園児保護者）のハウスでいちご狩りを楽しみました。これは、齋藤さんが園児たちに旬のおいしいいちごを食べてもらおうと地元の北浦幼稚園園児に無償で提供してくれたものです。

園児達は自分で収穫した真っ赤ないちごをほお張りながら「とっても甘くておいしい」「わたし20個くらい食べたよ!」と大感激でした。



フラワーロードで活力ある毎日を!

花で彩るまちづくりスタッフ

四鹿・杉平～繁昌・山田地区の県道沿いがオレンジと黄色のマリーゴールドでフラワーロードとなり、道行く人々の目を楽しませています。これは花で彩るまちづくりスタッフのみなさんが市の「なめがた元気補助金」を活用し、昨年の四鹿・杉平地区から繁昌・山田地区（約10㌔）に延長した街道はとてにぎやかになりました。沿道の皆さんには快くご協力いただいたようです。「通学路が明るい感じになって良いですね」と山田地区の阿須間利子さん。地域の活性化や市のイメージアップになるようみなさんも自宅前に植えてみませんか。

満開の藤の花を見ながら渡し初め

玉造第2保育園 山百合の里にて

「井上山百合の里」内にある藤の花が満開となり、地元の玉造第2保育園の園児が訪れ、新しく整備された橋の渡し初めを行いました。園児たちはその後、山百合の里内で湧き水を飲んだり、魚や植物を観察するなどして楽しみました。

井上山百合の会のみなさんは、7月の中旬に開催される山百合まつりに向けて、里山の整備・おもてなしの準備を行っているそうです。今年もたくさんの方が訪れることが期待されます。



スカイツリーみたいに大きなお芋になあれ

ソラマチファームに行方の土と苗

5月22日にオープンした「東京スカイツリー®」の東京スカイツリータウン®「ソラマチファーム」に、屋上緑化並びに都会で土と触れ合える都市型屋上農園「らぼっぽおいも畑」が開園しました。

これは白ハト食品工業株式会社が行方市を含む4カ所の生産地で実施している「おいも株オーナー制度」を「ソラマチファーム」でもスタートしたもので、おいも畑の土・さつまいもの苗は、JAなめがたのものを使用しています。5月12日にはオープンに先駆けて開園式が行われ、公募で応募した親子連れ約150人が苗植えを楽しみました。

第7回行方杯ミニバスケットボール大会

4月28日(土) 29日(日) 北浦体育館ほか

- ★女子の部 Aブロック 【優勝】 真壁ミニバス
- ★女子の部 Bブロック 【優勝】 みのりミニバス
- ★女子の部 Cブロック 【優勝】 玉造山王ミニバス
- 【準優勝】 麻生ミニバス 【第3位】 手賀ミニバス



EU について学びました

麻生高等学校 「EU があなたの学校にやってくる」

5月14日、麻生高等学校にオーストリア大使館 代理大使のトーマス・ロイドル氏(通訳 カールハインツ・モーセア氏)が訪れ、「EUをもっとよく知ろう!ーヨーロッパの国々が目指す『多様性の中の統合』ー」という演題で講演を行いました。

トーマス氏はEUのしくみや日本との関連性、またオーストリアの音楽や文化などについて説明し、「これをきっかけにオーストリアを訪れてみたいという気持ちになってくれたら嬉しいです」と話してくれました。講演後には生徒から活発な質問があり、たいへん有意義な時間となりました。

第1回行方市ゴルフ連盟大会

4月18日(水) 麻生カントリークラブ

- 【優勝】 茂木宗五郎 【準優勝】 田口 操
- 【準優勝】 並木 文男 ベスグロ 横瀬 孝(80)